

## 礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

## セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

## 家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

# デーヴォ ガイド



**2021.12.6-12**

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

## L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。  
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

## ➤ 6日 月曜

### テモテⅡ

- 3:1 終わりの日には困難な時代がやって来ることをよく承知しておきなさい。
- 3:2 そのときに人々は、自分を愛する者、金を愛する者、大言壮語する者、不遜な者、神をけがす者、両親に従わない者、感謝することを知らない者、汚れた者になり、
- 3:3 情け知らずの者、和解しない者、そして、節制のない者、粗暴な者、善を好まない者になり、
- 3:4 裏切る者、向こう見ずな者、慢心する者、神よりも快樂を愛する者になり、
- 3:5 見えるところは敬虔であっても、その実を否定する者になるからです。こういう人々を避けなさい。
- 3:6 こういう人々の中には、家々にはいり込み、愚かな女たちをたぶらかしている者がいます。その女たちは、さまざまの情欲に引き回されて罪に罪を重ね、
- 3:7 いつも学んではいるが、いつになっても真理を知ることのできない者たちです。
- 3:8 また、こういう人々は、ちょうどヤンネとヤンブレがモーセに逆らったように、真理に逆らうのです。彼らは知性の腐った、信仰の失格者です。
- 3:9 でも、彼らはもうこれ以上に進むことはできません。彼らの愚かさは、あのふたりのばあいのように、すべての人にははっきりわかるからです。

パウロはテモテに、教会の人々への指導について具体的に書きましたが、それら地上の歩み方をよきものにするには、「終りの日」についての正しい知識が必要です。主の最終的なさばきのときには、善と悪、また信仰と反逆が明確になります。それに



よって主の正しさが鮮明になるのです。  
ここにあるような言動をする人々が現れるということですから、それを見聞きしてもうろたえることは要りません。もしかしたら教会にそのような人が入り込んでくるかも知れません。教会がキリストの体であることを知って、キリストのために守ろうとする人は、「真理に逆らう」人から教会を守る必要も感じるでしょう。  
聖書のみことばを日頃から学び、従い、また教会と主イエスを愛して、必要な時に必要な決断ができるような、信仰の勇者となりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 7日 火曜

### テモテⅡ



3:10 しかし、あなたは、私の教え、行動、計画、信仰、寛容、愛、忍耐に、  
3:11 またアンテオケ、イコニオム、ルステラで私にふりかかった迫害や苦難にも、よくついて来てくれました。何というひどい迫害に私は耐えて来たことでしょう。しかし、主はいつさいのことから私を救い出してくださいました。  
3:12 確かに、キリスト・イエスにあって敬虔に生きようと願う者はみな、迫害を受けます。  
3:13 しかし、悪人や詐欺師たちは、だましたりだまされたりしながら、ますます悪に落ちて行くのです。  
3:14 けれどもあなたは、学んで確信したところにとどまっていなさい。あなたは自分が、どの人たちからそれを学んだかを知っており、  
3:15 また、幼いころから聖書に親しんで来たことを知っているからです。聖書はあなたに知恵を与えてキリスト・イエスに対する信仰による救いを受けさせることができるのです。  
3:16 聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。  
3:17 それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです。

クリスチャンに限らず、真理や正義に生きようとする人は、この世では苦しいことがあります。人の形が罪ゆえに壊れてしまっているからです。この世の正義でさえ、そのために犠牲を払って勝ち取ろうとする人が大勢います。まして永遠の命のため、永遠の価値のために犠牲を払うのは当然といえば当然のことです。

とはいえ初代教会の時代には、「…ひどい迫害」があり、クリスチャンたちは猛獣の餌食にされたりしたのですが、それでも多くの人々が天国の希望のゆえに信仰を守り通したのです。私たちもときには厳しい選択に迫られることがあるでしょう。苦しみを逃れるために、または成功を手に入れるために信仰から離れるか、それとも「だましたりだまされたりしながら、ますます悪に落ちて行く」ことをよしとしないで、信仰を守り続けるか…です。

日頃から小さなことでも主のみころを選び取っているなら、間違いに落ちることはないでしょう。小さなことに忠実な人は大きなことにも忠実…とあるように。そのような神様に忠実な人は聖書を読み、また神のことばである聖書に忠実です。生活、人生の目的、教会の在り方などなど、聖書にしっかりと聞いて歩いて行きましょう

①神のみころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 8日 水曜

### テモテⅡ



4:1 神の御前で、また、生きている人と死んだ人とをさばかれるキリスト・イエスの御前で、その現われとその御国を思って、私はおごそかに命じます。

4:2 みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりとやりなさい。寛容を尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。

4:3 というのは、人々が健全な教えに耳を貸そうとせず、自分につごうの良いことを言うてもらうために、気ままな願いをもって、次々に教師たちを自分たちのために寄せ集め、

4:4 真理から耳をそむけ、空想話にそれて行くような時代になるからです。

4:5 しかし、あなたは、どのようなばあいにも慎み、困難に耐え、伝道者として働き、自分の務めを十分に果たしなさい。

4:6 私は今や注ぎの供え物となります。私が世を去る時はすでに来ました。

4:7 私は勇敢に戦い、走るべき道のりを走り終え、信仰を守り通しました。

4:8 今からは、義の栄冠が私のために用意されているだけです。かの日には、正しい審判者である主が、それを私に授けてくださるのです。私だけでなく、主の現われを慕っている者には、だれにでも授けてくださるのです。

「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くても…」とあります。伝道など今は無理とか、教会に誘っても来ないと思う…などと言うのを聞くことが多いですが、それでも聖書に書いてあることを話題にすることはできるでしょう。

それも無理なら行動によって「みことばを宣べ伝える」ことはできます。つまりみことばを行うのです。実はそれが一番効果のある伝え方です。またイ

エス様の方法です。

パウロはテモテに「自分につごうの良いことを言うてもらうために…」それて行くような時代になると言っています。いつの時代にもそのような異端は出現しますが、もしも私たちが聖書の教えを自分たちの都合で、取捨選択したり無視したり、または別の考えややり方ををするなら、同じことです。

パウロのように投獄されてでも、主の教えを曲げずにそのために生きた人によって、聖書は伝えられてきました。私たちもその担い手となることが主から求められているのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 9日 木曜

### テモテⅡ



4:9 あなたは、何とかして、早く私のところに来てください。

4:10 デマスは今の世を愛し、私を捨ててテサロニケに行ってしまう、また、クレスケンスはガラテヤに、テトスはダルマテヤに行ったからです。

4:11 ルカだけは私とともにおります。マルコを伴って、いっしょに来てください。彼は私の務めのために役に立つからです。

4:12 私はテキコをエペソに遣わしました。

4:13 あなたが来るときは、トロアスでカルポのところに残しておいた上着を持って来ててください。また、書物を、特に羊皮紙の物を持って来てください。

4:14 銅細工人のアレキサンデルが私をひどく苦しめました。そのしわざに応じて主が彼に報いられます。

4:15 あなたも彼を警戒しなさい。彼は私たちのことばに激しく逆らったからです。

4:16 私の最初の弁明の際には、私を支持する者はだれもなく、みな私を見捨ててしまいました。どうか、彼らがそのためにさばかれることありませんように。

4:17 しかし、主は、私とともに立ち、私に力を与えてくださいました。それは、私を通してみことばが余すところなく宣べ伝えられ、すべての国の人々がみことばを聞くようになるためでした。私はししの口から助け出されました。

4:18 主は私を、すべての悪のわざから助け出し、天の御国に救い入れてくださいます。主に、御栄えがとこしえにありますように。  
アーメン。

4:19 プリスカとアクラによろしく。また、オネシポロの家族によろしく。

4:20 エラストはコリントにとどまり、トロピモは病気のためにミレトに残して来ました。

4:21 何とかして、冬になる前に来てください。ユプロ、プデス、リノス、クラウドヤ、またすべての兄弟たちが、あなたによろしくと言っています。

4:22 主があなたの霊とともにおられますように。恵みが、あなたがたとともにありますように。

パウロは自分の死が近いことを感じて、何ごとも率直に書いているようです。テモテに頼みごとをして、彼に対する信頼を表わし、また信仰からそれた人のことも書いていますが、それはテモテに警戒を教えるためかもしれません。

そしてそのような中でパウロは最終的には「主は、私とともに立ち、私に力を与えてくださいました。」と、証しをしています。

私たちがさらけ出されるような状況で、率直に語ってしまうようなときにも、最後は主を讃えて感謝するような者でありたいと思います。

正直な証し人になりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## ▶10日 金曜

### ヨブ



32:1 この三人の者はヨブに答えるのをやめた。それはヨブが自分は正しいと思っていたからである。

32:2 すると、ラム族のブズ人、バラクエルの子エリフが怒りを燃やした。彼がヨブに向かって怒りを燃やしたのは、ヨブが神よりもむしろ自分自身を義としたからである。

32:3 彼はまた、その三人の友に向かって怒りを燃やした。彼らがヨブを罪ある者としながら、言い返すことができなかったからである。

32:4 エリフはヨブに語りかけようと待っていた。彼らが自分よりも年長だったからである。

32:5 しかし、エリフは三人の者の口に答えがないのを見て、怒りを燃やした。

32:6 ブズ人、バラクエルの子エリフは答えて言った。

私は若く、あなたがたは年寄りだ。  
だから、わきに控えて、遠慮し、  
あなたがたに私の意見を述べなかった。

32:7 私は思った。

「日を重ねた者が語り、  
年の多い者が知恵を教える。」と。

32:8 しかし、人の中には確かに霊がある。

全能者の息が人に悟りを与える。

32:9 年長者が知恵深いわけではない。

老人が道理をわきまえるわけでもない。

ヨブと友人たちの議論は膠着状態になってしまいました。友人たちは、因果応報という自分たちの主張をするため、経験や伝統を神よりも上とし、ヨブはまた神よりも自分の正しさを上にしていたからです。

エリフは情熱の人でしたが、これまで謙遜に他の

人の言うことに耳を傾けていました。だからこそエリフは新たな視点を語ることができました。それは他の人々のように経験や伝統に根拠を置くのではなく、全能者の息すなわち聖霊に聴くべきだということです。しかしながら、彼もまた怒りという感情に影響されてしまったのです。

人間はあくまでも不完全です。しかし、だからこそそれぞれに役割が与えられています。それによって神様の御心に近づいてゆくことができます。論争になったときは、「自分が絶対正しい」とは思わずに、相手を尊重しつつ神様の導き出された結果を、従順にまた信頼して受け入れましょう。

ピリピ書に「2:3 何事でも自己中心や虚栄からすることなく、へりくだって、互いに人を自分よりもすぐれた者と思いなさい。2:4 自分のことだけではなく、他の人のことも顧みなさい。」とありますから。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



去ろう。

エリフは自分が語るまで、他の人の意見に「耳を傾けて」いました。同じ場所で堂々巡りをしているようなとき、新しい視点で可能性を与えるのはこのような人です。

自分の主張でヨブを非難していた友人たちは、「罪を認めさせる」ことはできませんでした。エリフは神の霊に視点を置いているのです。

ローマ書には「<sup>11:33</sup> ああ、神の知恵と知識との富は、何と底知れず深いことでしょう。そのさばきは、何と知り尽くしがたく、その道は、何と測り知りがたいことでしょう。<sup>11:34</sup> なぜなら、だれが主のみこころを知ったのですか…」とあります。語るならば、友人たちのように自論を押し付けるのではなく、神の御心を求めることを促しましょう。

32:10 だから、私は言う。

「私の言うことを聞いてくれ。

私も、また私の意見を述べよう。」

32:11 今まで私はあなたがたの言うことに期待し、あなたがたの言い分を調べ上げるまで、あなたがたの意見に耳を傾けていた。

32:12 私はあなたがたに注意を払っていたのに、ヨブに罪を認めさせる者はなく、あなたがたのうちで彼のことばに答える者もない。

32:13 だが、おそらくあなたがたは言おう。

「私たちは知恵を見いだした。

人ではなく、神が彼を吹き払った。」と。

32:14 彼はまだ私に向かってことばを並べたててはいない。私はあなたがたのような言い方では彼に答えまい。

32:15 彼らはあきれて、もう答えない。彼らの言うことばもなくなった。

32:16 彼らが語らず、そのままじっと答えないからといって、私は待っていなければならないだろうか。

32:17 私は私で自分の言い分を言い返し、私の意見を述べてみよう。

32:18 私にはことばがあふれており、一つの霊が私を圧迫している。私の腹を。

32:19 今、私の腹は抜け口の無いぶどう酒のようだ。新しいぶどう酒の皮袋のように、今にも張り裂けようとしている。

32:20 私は語って、気分を晴らしたい。くちびるを開いて答えたい。

32:21 私はだれをもひいきしない。どんな人にもへつらわない。

32:22 へつらうことを知らないから。そうでなければ、私を造った方は今すぐ、私を奪い

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



33:1 そこでヨブよ。どうか、私の言い分を聞いてほしい。私のすべてのことばに耳を傾けてほしい。

33:2 さあ、私は口を開き、私の舌はこの口の中で語ろう。

33:3 私の言うことは真心からだ。私のくちびるは、きよく知識を語る。

33:4 神の霊が私を造り、全能者の息が私にいのちを与える。

33:5 あなたにできれば、私に返事をし、ことばを並べたて、私の前に立ってみよ。

33:6 実に、神にとって、私はあなたと同様だ。私もまた粘土で形造られた。

33:7 見よ。私のおどしも、あなたをおびえさせない。私が強く圧しても、あなたには重くない。

33:8 確かにあなたは、この耳に言った。私はあなたの話す声を聞いた。

33:9 「私はきよく、そむきの罪を犯さなかった。私は純潔で、よこしまなことがない。

33:10 それなのに、神は私を攻める口実を見つけ、私を敵のようにみなされる。

33:11 神は私の足にかせをはめ、私の歩みをとごとく見張る。」

33:12 聞け。私はあなたに答える。このことであなは正しくない。神は人よりも偉大だからである。

33:13 なぜ、あなたは神と言い争うのか。自分のことばに神がいちいち答えてくださらないというて。

エリフはヨブの心に、神の全能に向き始めるきっかけを与えました。それは、「真心」から語り、自論ではなく「全能者の息(霊)」によって語り、

「あなたと同様だ」と謙遜に語り、「おびえさせない」ような愛の配慮があったからです。「病は罪があるからだ」と、一方的にヨブを非難した友人たちとはその点で違っています。

その上でエリフは、神が言い争うこともできない、偉大な方であることを述べます。まさに昨日引用したローマ書の聖句のとおりです。

人は自分の力で説得しようとする、相手を「強く押し」、傷つけたり、また自分の主張を繰り返したりするものです。全ては主の御手の中にあります。主の御心を語ろうとする場合、相手の変化についても御心に任せる必要があります。そのとき、主への思いによって相手に気づきが与えられるのではないのでしょうか。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

